

# ちゃれんG ボール普及の試み ～紹介 DVD の活用に着目して～

吉田 望 (健康・スポーツマネジメント、体操方法論、200311965)

指導教員 (主) 長谷川 聖修  
指導教員 (副) 遠藤 卓郎  
指導教員 (副) 本谷 聡

キーワード：ちゃれんG ボール、スポーツ普及、紹介 DVD

## 【研究動機および目的】

ちゃれんG ボールは子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツである。見ても体験しても楽しいスポーツであるが、まだ、日本における競技者は少ない。このスポーツを多くの人に広めたい、取り組んで欲しい、との願いからこの研究に取り組んだ。その普及の一方策として、紹介 DVD を制作し、これを見ればちゃれんG ボールについて理解が深まり、「やってみたい」と思わせる手軽で魅力的な紹介映像を制作する必要があると考えた。そこで、本研究はちゃれんG ボールの普及を目指した紹介 DVD を制作し、それを大学生と専門学校生に視聴させ、その前後にアンケート調査を行い、その結果を検討する事で、紹介 DVD の内容改善とちゃれんG ボール普及に関する基礎的知見を得る事を目的とする。

## 【研究方法】

### 1. ちゃれんG ボール紹介 DVD の制作

ちゃれんG ボールを理解する上で、必要と考えられる、情報を集め、もしくは撮影し、動画編集ソフト iMovie6.0.3 を用いて編集作業を行い6分15秒の映像にまとめ、DVD を制作した。

### 2. アンケート調査

対象者はT大学体育専門学校生 (以下体育学生と略す) 175名 (平均年齢18.3歳)、Sリハビリテーション専門学校生 52名 (平均年齢24.4歳)、S保育福祉専門学校生 135名 (平均年齢20.0歳) (上記二つをまとめ以下専門学校生と略す) であった。なお、対象者はちゃれんG ボールについて事前情報を得ていない者を選んだ。調査は制作した紹介映像の視聴前と視聴後にアンケート調査を実施した。視聴前アンケートはG ボールおよびちゃれんG ボールについての認知度、身体活動の好悪感等を調査した。視聴後アンケートは紹介映像内容の理解度、映像内容の改善策を得るための質問項目等を調査した。

## 【結果と考察】

現状としてG ボールの使用用途は「スポーツトレーニング」という認識が最も高く、名称については「バランスボール」という認識が最も高かつ

た。ちゃれんG ボール紹介 DVD 視聴後のスポーツ全体についての内容理解度は体育学生、専門学校生ともに80%を超え、肯定的な回答が示された。また、技や競技中の演技に興味を持った者が多く、集計の結果、最も知りたい内容として「上達するコツ」ということが416件中275件であった。ちゃれんG ボールの挑戦意欲については体育学生が69%、専門学校生が82.2%で肯定的な回答が得られた。その中で全日本大会出場の意欲を示したものが両群30%前後であった。身体活動の好悪感とちゃれんG ボールへの挑戦意欲をクロス集計して分析した結果は以下の図1の通りである。体を動かす事が「どちらかといえば嫌い」「大嫌い」と回答した者でも60%、33%が「挑戦したい」と回答した。

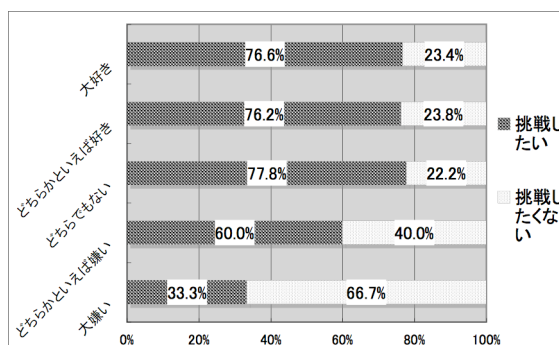


図1 身体活動の好悪感とちゃれんG ボールへの挑戦意欲

## 【結論】

本研究で制作したDVDは体を動かす事があまり好きではない者でも、挑戦してみたいと思わせる要素を含んでいる内容であったと考えられた。しかし、演出面からは説明のスピードおよび場面転換にゆとりを持って、再編集する必要があると考えられた。演出および内容においてより分かりやすい紹介映像にする為に改善の余地があることが具体的に明らかにされた。本研究で明らかになった課題を踏まえ、ちゃれんG ボールを全く知らない人が観ても、スポーツの概要がわかり、チャレンジしたくなるような紹介映像に再編集し直し、あらゆる団体に配布し、ニュースポーツの一つとして取り組んでもらえるように、普及活動を具体化してゆくことが今後の課題である。